

みさと 市議会だより



No. 190

2022年7月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の意思決定機関



祝 三郷市市制施行50周年記念式典



主な内容

令和4年6月定例会

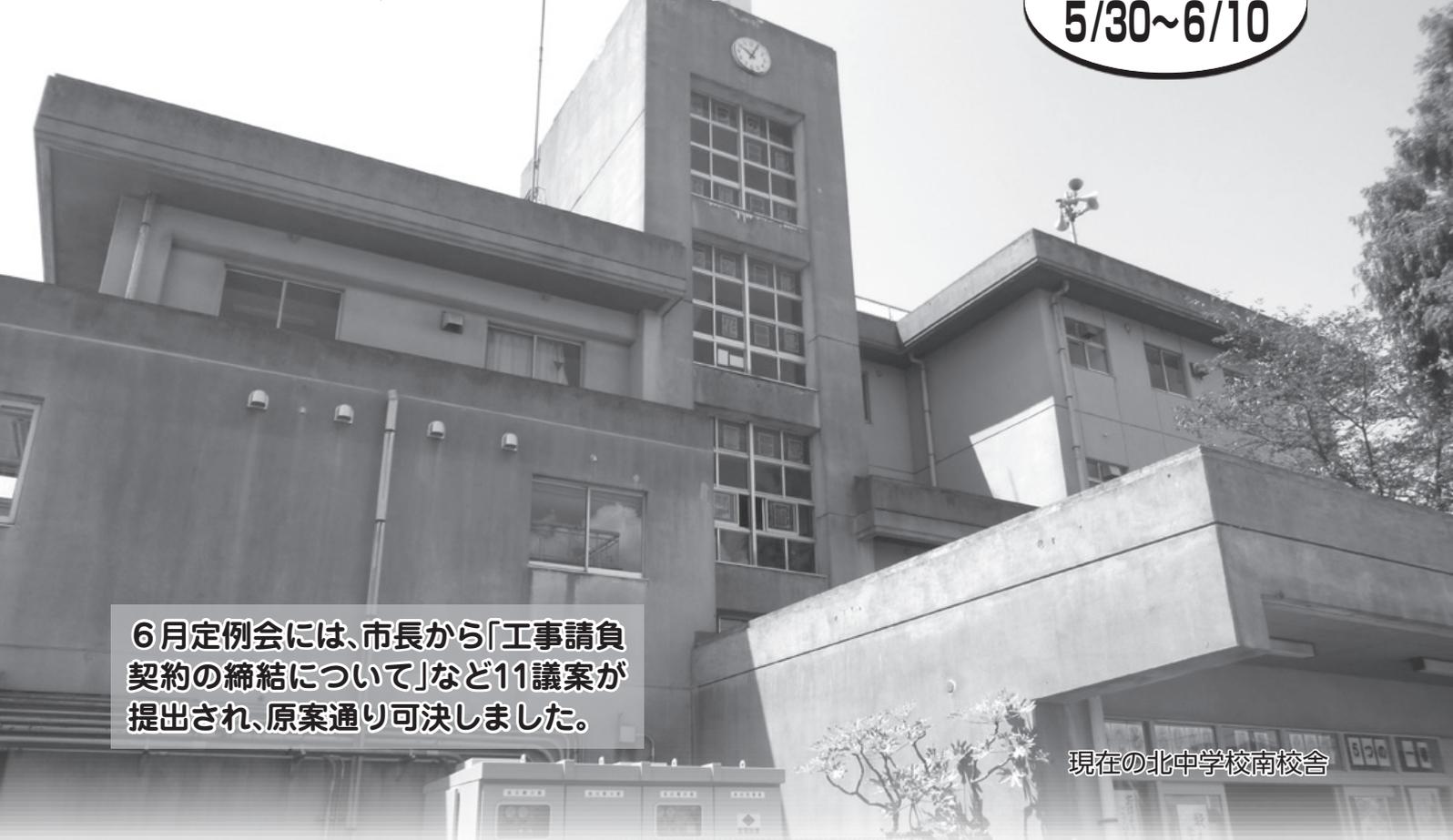
- ・ 論点「北中学校の大規模改修が
始まります」・・・・・・・・・・ 2
- ・ 市政に対する一般質問・・・・・・・・ 4
- ・ 6月定例会及び令和4年第2回臨時会
提出議案とその結果・・・・・・・・ 10
- ・ 議会あれこれ・・・・・・・・・・ 11
- ・ 読者の声・・・・・・・・・・ 12

6月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

論点

北中学校の大規模改修が始まります

6月定例会
5/30~6/10



現在の北中学校南校舎

6月定例会には、市長から「工事請負契約の締結について」など11議案が提出され、原案通り可決しました。

議案第35号 工事請負契約の締結について

〈内容〉

北中学校大規模改修は、屋上防水、外壁、内装、トイレの一部洋式化を行います。工事のスケジュールについては、令和4年6月下旬に着工し、令和5年2月に完了を予定しています。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 大規模改修に至った経緯は。

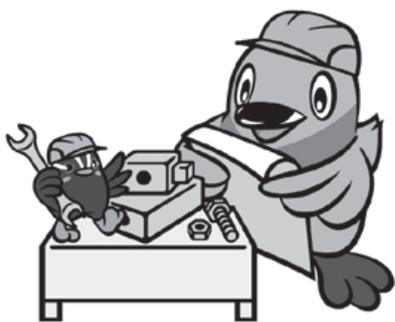
答 今後想定される生徒の増加に対応するため、普通教室を8教室増やし、合計30教室とするほか、「学校教育施設個別計画」に基づき、屋上防水や外壁塗装工事などにより、計画的に校舎の長寿命化を図るものである。

問 工事中の生徒への安全対策について詳細に。

答 安全対策については、生徒がいない夏季休業中を中心に工事を進めるとともに、学期中は生徒の安全や教育環境に十分配慮の上、工事エリア

問 を区分しながら進めていく。トイレ改修工事の内容と、既存の多目的トイレの改修内容について詳細に。

答 南校舎のトイレはすべて洋式化されている。今回は北校舎のトイレを対象に、13か所の和式トイレを洋式トイレに改修し、合計で洋式トイレ53か所、和式トイレ3か所とした。また、現在両校舎にある多目的トイレ（車いす利用者用トイレ）の改修については、床ビニールシートの張替えや、壁タイル補修、手すりや入口ドアの交換を行う。



問 外構改修工事の駐輪場の増設について、現在、北中学校の駐輪場は、北校舎の北側と南校舎の東側、体育館の東側にあるが、この工事で合計何台分となるのか。

答 現在、北中学校の生徒数653名に対し、既存の駐輪場は約600台あり、今回300台分増設し、計900台とする。今後、自転車通学する生徒の増加を見込んだ整備である。

問 今後の市内小中学校の長寿命化工事の予定は。

答 今後については、これまで大規模改修を行っていない学校を優先的に進めていく予定である。

委員会の討論では、「生徒にとって、より良い教育環境整備として必要であることから賛成」などがありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。

大規模改修の内容

- 《外壁改修工事》
 - ・外壁塗装改修
 - ・シーリング打替 ・ 樋交換
 - ・鉄骨外階段塗装
 - ・バルコニーフェンス塗装
- 《屋上防水改修工事》
 - ・ウレタン塗膜防水改修
 - ・屋上フェンス塗装
- 《外構改修工事》
 - ・駐輪場増設 ・ 駐車場増設整備

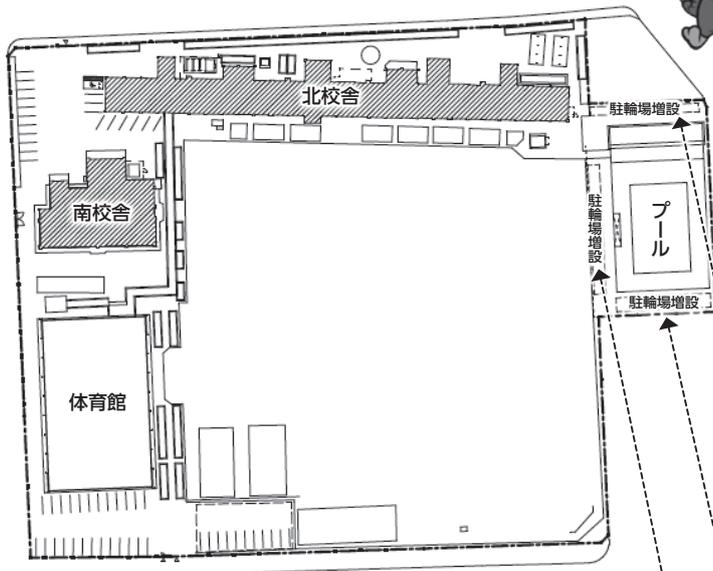
- 《内部改修工事》
 - 普通教室/特別教室
 - ・床塗装 ・ 天井一部張替 ・ 建具補修
 - 廊下/昇降口/階段
 - ・建具一部改修 ・ 防火シャッター改修
 - ・床シート張替
- 《トイレ改修工事》
 - ・便器一部洋式化

◆長寿命化対策とは

施設は経年により老朽化し、また、建物に求められる機能は時代とともに変化します。老朽化した施設を将来にわたって長く使い続けるために耐用年数を延ばす対策を行うことです。



配置図



駐輪場増設予定地



北中学校改修後イメージ



駐輪場イメージ



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

西村 寿美枝	齊藤 幹郎	佐々木 修	柳瀬 勝彦
篠田 正巳	寺沢 美紗	一色 雄生	鳴海 和美
佐藤 智仁	工藤 智加子	宇治由紀子	深川 智加
加藤 英泉	渡邊 雅人	菊名 裕	

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、3日間にわたり15人の議員が活発な論戦を展開しました。
※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

LGBTQの方に対するパートナーシップ制度について



議員

多様性を認め、尊重し合う社会の実現を目指す中で、LGBTQ(性的マイノリティ)の方々が生きていく上で必要な環境づくりが必要である。LGBTQ当事者と理解者から設立された「レインボーさいたまの会」から、パートナーシップ認証制度を創設することによって、病院での面会や、医療の同意・決定の際などに、パートナーとして認めてもらいたいという切実な声があり、要望書が提出されているが、市の見解は。

市長 令和4年4月現在、埼玉県内35市町がパートナーシップ制度を導入しており、性的少数者に対する社会的配慮に向けた動きが高まっていると認識している。市としても、パートナーシップ制度の制定に向け検討していく。

総務部長 市では第5次みさと男女共同参画プランに「みんなが互

いに理解・尊重し、個性と能力を發揮できるまちみさと」を基本理念に掲げ、性の多様性について理解・促進を図る啓発事業に取り組んでいる。パートナーシップ制度導入に当たっては、先進自治体の事例を調査研究し、近隣自治体間での広域的な連携にも配慮しながら検討を進めていく。併せて制度の創設により得られる効果として、利用可能な市のサービスについても調査していく。

その他の質問

図書館問題など。

親の学習について

議員

三郷市が取り組む「親の学習」講座の趣旨と概要、参加者の意見やコロナ禍での実績の変化等を含めた現状、更に今後の課題について伺う。また、コロナ禍の現状では座学のみだが、聞いただけで終わらず他者の意見を知ることができると、どのような工夫をしているのか。

生涯学習部長

「親の学習」講座は、平成21年度より開始した事業で、保護者同士の交流や子育て支援ネットワークの充実、子供たちの

健やかな成長を目的としている。主に未就学児や児童生徒の保護者を対象とし、「親が親として育ち、力をつけるための学習」に力を入れ、講義形式ではなく参加型学習を特徴としている。現在は感染拡大防止対策として主にオンライン講座での実施のため、参加者は減少傾向だったが、市ホームページに動画を掲載して多くの市民に視聴していただき、「他のかたの取組を聞くことができ、参考になった」等の意見をいただいている。対面で実施している就学時健康診断における講座では、参加者の不安や悩み、意見等がグラフ化や一覧表示される「イマキク」というリアルアンケートシステムを導入しており、互いの考えを共有できるものとなっている。



親の学習講座の様子

つくばエクスプレス 高架下の活用について

議員 高架下の活用については、8

年前から4回にわたって一般質問で取り上げてきた。高架下の現状としては、駐輪場などのエリアと、路線バスロータリーのエリア(駅前広場含む)に分かれると認識している。それぞれの活用として、商業施設や飲食店・子育て支援施設、ポツプアップストア・子供がボール遊びでできるスペース・ドッグラン・フリースペースなど、様々な可能性を提案してきた。ロータリー周辺の交通安全対策や整備について、高架下の所有者である鉄道事業者との協議状況と駅前広場を含めた今後について伺う。



つくばエクスプレス高架下

まちづくり推進部長

高架下につ

いて、鉄道事業者側の2022年度事業計画で高架下を商業施設や子育て支援施設等に積極的に活用する方針が示されており、市としても今後更に高架下の有効活用の実現化に向けた協議に取り組んでいく。駅前広場を含めた今後について、補助金を活用して地域住民や駅利用者、周辺事業者を対象とした勉強会やワークショップを行い、その結果を駅周辺の整備方針の検討に反映させていく。

その他の質問

福祉・環境対策。

今後の学校施設の バリアフリー化について

議員

「誰一人取り残さない」持続

可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、お互いを認め、支え合い、誰もが自信と誇りをもって社会に参画し、障がいの有無や性別、国籍の違いなどに関わらず、人々がともに安全・安心に生き生きと暮らしていくために、学びの基盤となる環境整備を力強く推進することが重要である。学校施設のハード面、ソフト面のバリアフリー化の推進の実現には時間がかかると思

うが、特に、心のバリアフリーの推進については積極的に進めていたいただきたい。バリアフリー法に基づく基本方針における整備目標期限となる令和7年度末までの整備計画について伺う。

学校教育部長

学校施設のバリア

フリー化については、スロープや手すりの設置、エレベーターの整備、トイレの改修など、誰もが学校施設を円滑に利用できるよう配慮するとともに、計画的な整備に努めている。心のバリアフリーの推進については、人権教育や特別支援教育、特別の教科道徳を始めとした各教科の全体計画・年間指導計画をもとに、自他を尊重し、多様性を認める教育を、今後も進めていく。

その他の質問

市民生活問題など。



彦糸小学校昇降口へのスロープ

市政運営について

議員

6月1日に選挙管理委員会

から任期満了に伴う市長選の日程が発表され、市民の関心は市長選に向けられている。かつて民間研究機関の「日本創成会議」が発表した地方消滅・東京一極集中が招く人口急減による人口推計では、896の自治体が2040年に消滅する可能性があると発表し、三郷市の名前も挙げられた。しかし、今の三郷市の現状は人口も予算規模も年々増加している。だからこそ、3月26日に放送された「アド街ック天国」でも三郷市が取り上げられ紹介された。そして、住みたいまちランキングでも上位にあげられているほどに知名度も上がり、子育て世代にも選ばれる街へと発展している。今後の市政運営について伺う。

市長

残された任期を全うすること

をお誓い申し上げるとともに、コロナ禍などの危機事象にも対応してきた市政運営の経験と実績を基に市長として、未来の三郷につなぐ決意を持って、市のさらなる発展に粉骨砕身全力を捧げてまいる所存である。

災害時における授乳問題

議員 女性の視点に配慮した防災

対策についての提言によると、性差によるニーズの違いの理解不足や、避難所での治安の悪化により、災害弱者はもとより、女性も多くのストレスを抱えていた。例えば、男性の目が気になり下着を干すことが出来なくて困った、着替える場所がなく布団の中で着替えた、授乳スペースがなく周囲に気を使うなど、乳幼児のいる世帯は生活しづらかった。授乳は女性のプライバシーが安全に保たれていること、抵抗力の弱い乳幼児が感染症にかからないよう衛生面の配慮がされていることが必要とされる。このような課題を解決する方法として専用の授乳室を設置してはどうかと考える。①避難所の授乳室設置について②衛生問題について見解を伺う。



危機管理監

①現在、小中学校等の全ての避難所において、体育館だけではなく、特別教室などに、授乳、女性用の物干し、生理用品等を配布する場所等を確保したレイアウト案を作成しており、避難所開設時に活用することとしている。②避難所において、授乳時の衛生環境の整備に必要な物品を備蓄している。また、避難生活が長期化する場合、災害時応援協定を締結している事業者から必要物資の支援をいただくこととしている。

企業版ふるさと納税を

活用したまちづくりについて

議員

企業版ふるさと納税とは、企業が自治体へ寄付することによって税負担が軽減されるという制度である。深谷市では、この制度を活用し、渋沢栄一の大河ドラマの企画・運営支援などで観光客が10万人以上となり、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰されている。三郷市でも、この制度を活用し、まちづくりを企業と一緒に行うことで、より一層のスピード感をもったまちづくりができると思うが、現状と今後の活用について伺う。

企画政策部長

本市では、地域経済の活性化や地域における雇用機会創出、その他の地域の活力の再生を図るため、「三郷市まち・ひと・しごと創生推進計画」を策定し、令和4年3月に国から認定を受けたところである。現在は、本計画に位置づけた「まちづくりは道づくり事業」「地域コミュニティの充実事業」「子どもたちの成長を見守る・夢を育む事業」の3事業を対象とし、企業版ふるさと納税として寄付を募っているところである。今後、引き続き周知を図ると共に寄付があつた際には、寄付者の意向も踏まえ活用していきたい。

原価高騰に対する

学校給食等への補助について

議員

複雑な世界情勢の中、食料品の値上げなどがすでに生活を直撃し、学校や保育現場などでは原価高騰による給食費等の値上げが心配されている。学校の給食は食育の環境で、成長期の大事なエネルギー源であり、保育所や幼稚園の食事も同様である。値上げはしなくとも、質が落ちたり量が減ってしまうことはあってはならない。国の地方創生

臨時交付金を活用し、質と量の確保と経済的な負担を軽減すべく、食糧費への補助を行うべきだが考えは、子ども未来部長 交付金の活用方法の一つとして国から示されている、「学校給食費等の負担軽減など子育て世帯に対する支援策」を、保育所や認定こども園及び認可外保育施設も位置づけることで、子育て世帯における負担軽減策の一つとして、より効果的な支援策となるよう検討していく。

学校教育部長

学校給食費の値上げによる保護者の負担を回避するため、交付金を活用し、食材費の補助や学校給食費の支援について検討していく。また、幼稚園分についても、学校給食費への支援と併せ検討していく。

その他の質問

健康問題など。



おいしい学校給食

新和3丁目の 水路の蓋かけを

議員 水路の側溝は、道路に溜まった雨水などを排水する為に設置しているもので、必要に応じて側溝上にコンクリート蓋やグレーチングを取り付けることで、側溝内に人や物が落ちる心配がなくなる。市内では、多くの住民から蓋かけの要望があり、今後は、老朽化した側溝の補修なども課題となってくるため計画的な工事が必要である。例えば、都市計画道路の放水路以南の歩道や、新和3丁目周辺などがあげられるが、現在の進捗状況と今後について伺う。

建設部長 新和3丁目周辺の状況は、これまで、新和3丁目、新和4丁目、新和5丁目地域において、計画的に水路の蓋架け整備を実施してきた。また、三郷放水路以南の新和



水路蓋掛け整備後のイメージ

地区では、都市計画道路新和高須線の整備も進めているところである。東和東地区文化センター周辺の水路については、都市計画道路とあわせて整備を行うことで、水路上部を歩道として、有効活用を図る予定である。今後も引き続き、歩行者の安全性の確保や、地域住民の生活環境の向上を図るため、計画的な水路の「蓋架け整備」と「水路」の適切な維持管理に努めていく。

その他の質問 教育問題など。

成年後見制度の利用促進を

議員 相談できるかたが身近にいない高齢者などが振り込め詐欺などの被害に遭われたり、一人暮らしの孤独死など、本市でもこうした事態が発生している。制度利用の促進には市町村の役割が大変重要となる。国による成年後見制度利用促進

基本計画の見直しを踏まえて本市としても計画策定を実施するとしているが、計画に示されている地域連携ネットワークの役割が大きく期待できると考える。市としてどのように対応するのか。

福祉部長 市では令和3年4月に、

弁護士や社会福祉士等の専門職を交えた「三郷市中核機関運営検討ワーキンググループ会議」を立上げ、10月には、地域ネットワークの要となる「中核機関」を三郷市社会福祉協議会に委託する形で設置し、

広報機能、相談機能の充実に努めている。今年度は、国の第2期成年後見制度利用促進基本計画に基づき、社会全体で支え合う共生社会の実現に向けた「三郷市成年後見制度利用促進基本計画」の策定を進め、制度の周知、本人の意思決定の支援、地域連携ネットワーク機能の強化や担い手の育成等を優先して取り組むことで、成年後見制度の利用促進をさらに進めていく。

その他の質問 障がい福祉についてなど。

教育のデジタル化推進に ともなう情報教育について

議員 市内小中学生すべてにタブレットが支給され教育のデジタル化が本格始動したが、全国的にネットいじめ等の問題が増加している。安全に利用するための情報教育や指導、また、タブレットからすぐにアクセスできる相談窓口のリンク

設定など踏み込んだサポート体制などについて伺う。

学校教育部長 児童生徒、保護者向けに「学習用タブレットPC使用規程」や「家庭でのお約束」を作成・配布し、学習目的ではないサイトへのアクセスも制限している。また、特別の教科道徳において、情報モラルについて、情報社会の倫理、法の理解と遵守といった内容を中心に学習している。さらに、インターネットを通じたトラブルの防止など、危険性について指導することで、規範意識を醸成している。児童生徒のいじめや悩み事に関する相談窓口の周知などについては、各学校でSOSの出し方の指導等を通しながら、相談窓口一覧の校内掲示や配布をしている。今後も、ネット利用における責任や安全な使い方について指導を重ね、メディアリテラシーの育成を推進していく。

その他の質問 まちづくり問題。



タブレットを使った授業

岩野木学校給食センターの移転について

議員 老朽化のため、中学校分の給食を調理している岩野木学校給食センターの移転が計画されている。

当初、南部地域への移転が予定されていたが、瑞沼市民センターのグラウンドへ変更した。北部地域にある、同グラウンドは市民のスポーツ活動拠点でもある。①瑞沼市民センターを選定した理由やこれまでの経緯は。②安全性や食育、災害時などの観点からもセンター方式(複数校の給食をまとめて調理)から、自校方式(各学校で調理)へ転換する良い機会であった。なぜ引き続き、



瑞沼市民センターとグラウンド

センター方式を進めるのか。

学校教育部長 ①防災・コミュニティ

給食センターの複合施設として南部地域への整備を予定していたが、まとまった用地の取得が困難となり、瑞沼市民センターのグラウンド内とした。敷地の選定にあたっては、北部の地区防災拠点である瑞沼市民センターの敷地内であり、災害時に、給食センターとの連携も可能となるなどの理由から選定した。②栄養士などの確保の問題や管理、費用の面からも効果的であることから、今後もセンター方式を進めていく。

その他の質問 図書館運営など。

市長との定期懇談会の設置について

議員 市では多様化・複雑化する市民ニーズを的確に把握し、市民参加

の市政運営・まちづくりを進めるため、投書箱やインターネット、モバイル、市長室直通FAX等による要望の受付、団体との懇談、市民意識調査などで市民の声を聴く広聴活動とした「広聴事業」が行われている。その中に年一回「市長と話そう」という市長との懇談の機会があり、

市長との距離をより身近にするこ
とで、相互に理解が深まり、市に活
気が出るほか、選挙の投票率の向上
にも繋がるものと考ええる。この懇談
会の機会を年に数回、定期的に開催
してはどうか。

市長 市民の皆様と懇談する機会

を設けることは、市民と行政が様々
な課題を共有し、それらを市政に反
映させる手段として、非常に有効で
あると考えているため、市長就任
以来、「市長と話そう」を実施してい
る。市民のかたから日頃の活動な
ど、様々な話を伺う大変貴重な機会
となっていることから、今後も、市
民の皆様の声を直接お聞きする機
会の確保に努めるとともに、より良
い市政の推進につなげていく。

その他の質問 防災問題など。

児童医療費について

議員 三郷市の子ども医療費助成

制度の現状は市内医療機関では窓
口払いの負担が発生しないものの、
市外医療機関にかかる時は一旦窓
口で自己負担した後に申請書や領
収書の原本を提出して申請をする
必要があり、このことによる時間

的、金銭的負担等は決して小さなも
のではない。こうした状況を受け
て未就学児に限り埼玉県の施策と
して県内医療機関での窓口払いを
なくす取り組みが本年10月からス
タートするが、年齢に関わらず県内
の医療機関での自己負担を無くす
こと、また県外医療機関においても
市独自の取り組みとして同様の施
策を進めるべきであると考えてるが、
市の見解は。

子ども未来部長 県内医療機関に

ついては、子ども医療費助成の対象
である15歳、中学校卒業までの全児
童を対象に、窓口払いを不要とする
よう進めていく。県外医療機関につ
いては、それぞれの自治体の医師会
等との契約や各都道府県の国民健
康保険団体連合会等との調整が必
要といった課題があるため、今後の
課題として検討する。

その他の質問 広報施策など。



6月定例会及び第2回臨時会の審議結果と賛否をお知らせします

■6月定例会

○=賛成 ×=反対

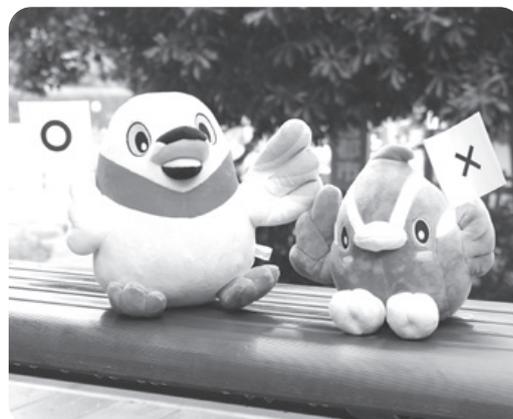
	号	件名	結果	政志会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	みんなのみさと	無所属
議案	31	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○
	32	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○
	33	専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○	○
	34	工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	35	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○
	36	三郷市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	37	三郷市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	38	三郷市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	39	三郷市議会議員又は三郷市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○
	40	令和4年度三郷市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○
	41	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○
請願	1	加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度を求めるに関する請願書	不採択	×	×	×	○	×	×	×

※このほか陳情3件がありました。

■第2回臨時会

	号	件名	結果	政志会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	みんなのみさと	無所属
議案	42	令和4年度三郷市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○

会派名(人数)	所属議員名
政志会(8)	武居 弘治(議長)、篠田 正巳、佐藤 裕之、佐々木 修、田上 広子、篠田 隆彦、齊藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ(5)	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人
公明党(5)	酒巻 宗一、鈴木 深太郎、佐藤 陸郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党(3)	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい(1)	市川 文雄
みんなのみさと(1)	宇治 由紀子
無所属(1)	一色 雄生



※議長は採決に加わっていません。

常任委員会行政視察を行いました

○当市の課題と先進例の研究を行い、より一層の市民サービス向上に寄与するため、行政視察を行いました。各常任委員会の行政視察報告書は、市ホームページでご覧いただけます。



委員会名	日程	視察先	視察項目
総務	5月9日 ～10日	熊本市 (熊本県)	熊本地震における避難所運営について 防災についての正しい知識(熊本市広域防災センター)
文教経済	5月10日 ～11日	周南市 (山口県)	道の駅ソレーネ周南の運営について 徳山駅前図書館について

【視察を行いました】

○5月23日に議員20名で大場川下流排水機場、三郷排水機場ほかにおける「安全でいつも安心して住めるまちづくりにおける治水対策の強化」について視察を行いました。

【他市からの行政視察がありました】

- 「子育て支援ステーション事業」について……5月13日に沖縄県宜野湾市議会 結・市民ネットワーク。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について……5月17日に山口県下関市議会文教厚生委員会、東京都足立区議会日本共産党足立区議団。

表彰及び感謝状

埼玉県市議会議長会から、市議会議長として2年間地方自治運営に寄与された功績に対し、菊名裕議員が表彰されました。また、埼玉県市議会議長会及び第4区議長会から、議長会の発展に尽くされた功績に対する感謝状が贈呈されました。



きく な ゆたか
菊名 裕 議員



市民の声 議会へ

市民要望としての請願が6月定例会に1件提出されました。結果をお知らせします。

請願第1号
加齢性難聴者の補聴器購入に助成制度を求めるに関する請願書

請願者 川島 登氏

審議結果 不採択



ひとに優しい街づくりを

個人事業主 40代 三郷3丁目在住

市制施行50周年おめでとうございます。三郷市の温かさや住みやすさを思い、市民の皆様と行政が共に歩んできた歴史に思いを馳せております。私は医療と障害福祉に関わって仕事をしております。高齢者施設のみならず、体の不自由な子どもたちや発達障害のある子どもたちも通える施設やセンターが拡充していくことを願っております。医療的ケアの必要な子どもも含め、病気や障害のある方も、赤ちゃんからお年寄りまで皆が安心して健やかに暮らせる、医療と障害福祉も充実した街であってほしいです。子どもたちの笑顔が溢れていきますようにと祈っています。

市制施行50周年おめでとうございます

主婦 60代 さつき平在住

みさと団地の公募に母が申し込みをして転居してきたのが47年ほど前。当時、団地の周辺は見渡す限り田んぼや畑で、「地平線が見える！」とびっくりしました。夜は暗闇の中に煌々と輝く団地の明かりがまるで未来都市のようでした。

50年の歩みとともに三郷市も発展して、交通の便がよくなり、近代的なショッピングセンターができたり、とてにぎやかになって、天国の母も驚いていると思います。都心に近いのに、すぐ近くに白鷺のペアがいたり、水鳥がいたり、夜は蛙や虫の音が聞こえる自然豊かな街です。そんな三郷が好きで、自分も永住の地と決めました。母への感謝とともに、次の60周年が楽しみです。



暑中お見舞い申し上げます

猛暑の折、熱中症等くれぐれも
お身体に気を付け、ご自愛ください。



※公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。
本紙上をもって、ご挨拶とさせていただきます。

三郷市議会

みさと市議会だより(第190号)

発行/三郷市議会

編集/議会だより編集委員会

〒341-8501

埼玉県三郷市花和田648番地1

TEL 048-930-7768(直通) FAX 048-953-1358

URL <http://www.city.misato.lg.jp>

